

# 詩文をつくり、画をえがき、書をかく。 佐賀藩を代表する学者、文化人、「草場佩川」。

くさばはいせん



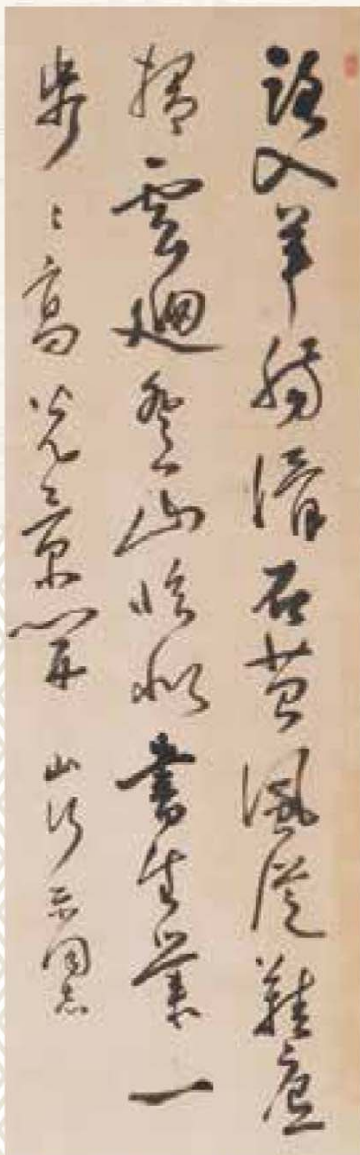
双鶴図並賛 草場佩川筆 個人蔵

草場佩川(くさばはいせん/1787年~1867年)は、肥前多久に生まれ、多久領の学校の東原庵舎と佐賀藩校の弘道館で学び、早くから学問をはじめ詩文と書画で頭角をあらわしました。文化8年(1811年)数え年25歳の時、朝鮮通信使との幕府側応接に加わり、その詩文や書画を披露、通信使たちから「奇才」と絶賛され、広く知られる存在となりました。

後に佩川は、佐賀藩校の弘道館の教授をつとめるなど、江戸時代後期から幕末まで長期にわたり佐賀藩を代表する学者、文化人として活躍、多くの人材を育成し、明治維新の前年、慶応3年(1867年)81歳で死去しました。

佩川は、詩書画いずれにも優れた稀有な存在で、「詩を一日に一首」、「文章を一月に五編」を自らに課して、生涯で2万首を超える漢詩と多くの文章を作る一方、自作漢詩を揮毫したり、自作花鳥画に自作漢詩を書き添えるなど、数多くの書画を遺すほか、現存する18歳以降の日記は、佐賀藩及び多久領関係の貴重な記録となっています。

この展覧会では、草場佩川の没後150年に当たり生涯を概観、豊かな才能に恵まれた佩川が遺した書画をはじめとする資料(遺産)を展示して、そのすぐれた業績と敬愛された人物像を紹介します。



山行示同志<多久展示>  
(七言絶句六首屏風のうち)  
草場佩川筆 個人蔵



多久茂郷像 草場佩川筆  
多久市郷土資料館蔵



牡丹図並賛 草場佩川筆  
個人蔵



女山大根図(野菜・草花園並賛屏風)  
草場佩川筆 個人蔵



竹図並賛 草場佩川筆 個人蔵



津島日記・下巻<多久展示>  
(朝鮮通信使船図) 草場佩川筆  
多久市郷土資料館蔵



大隈重信自筆寄書 個人蔵  
※弘道館在学中、17歳の貴重な資料

※<多久展示>は多久市郷土資料館、  
それ以外は、佐賀県立博物館で展示いたします。

## 佐賀県立博物館

SAGA PREFECTURAL MUSEUM

〒840-0041 佐賀市城内1-15-23

TEL0952-24-3947 FAX0952-25-7006

佐賀県立博物館 検索

<http://saga-museum.jp/museum/>

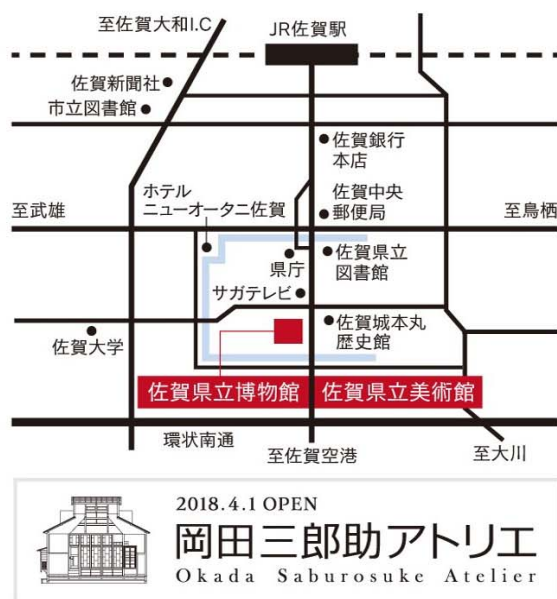
【開館時間】9:30~18:00

【休館日】毎週月曜日(1月1日・8日を除く)

12月29日(金)~12月31日(日)、1月9日(火)

- JR佐賀駅より南へ徒歩30分
- 佐賀駅バスセンターより市営バス利用1番のりば「佐賀空港」または、3番のりば「平松循環」「広江・和崎」→「博物館前」下車、徒歩1分
- 3番のりば「佐賀城跡」→「サガテレビ前」下車、徒歩3分
- 市営・昭和・祐徳・西鉄バス→「県庁前」下車、南へ徒歩10分
- 佐賀空港→市営バス「博物館前」下車、徒歩1分

※駐車場に限りがありますので、  
御来館の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



2018.4.1 OPEN  
岡田三郎助アトリエ  
Okada Saburosuke Atelier

## 多久市郷土資料館

〒846-0031 多久市多久町1975

TEL0952-75-3002

【開館時間】9:00~16:00

【休館日】毎週月曜日(1月8日を除く)

12月29日(金)~1月3日(水)、1月9日(火)

